

講義名	西洋史					授業形態	
担当教員	白幡 俊輔	開講期・曜日・時限		後期 火曜日 2 時限			
		単位数	2	履修開始年次	2 年生	ナンバリング・コード	LBA220

主題と概要
古代から現代までの西洋世界の歴史を中心に、その周辺地域（ロシア・中東・北アフリカ・南北アメリカ）の歴史について、基本的な知識を習得する。西洋の政治や社会の変化に加えて、経済や文化についても講義する。 同時に、過去のヨーロッパの人々が歴史をどのように捉え、歴史にどのような意味付けをしていたのか、歴史はどのように叙述されてきたのか、といった「歴史叙述、歴史認識の歴史」についても講義する。

到達目標
1. 西洋史の基本的な流れを理解する。 2. 西欧世界と関連する諸外国の歴史と文化について理解する。 3. 古代から現代までの「歴史叙述」および「歴史学」の方法を理解する。

提出課題
講義ごとにレスポンスを用いた「授業理解度と感想・質問を記入するアンケート」を行うので、必ず記入して提出すること 同時に「事前学習」として、次回授業に関連する文献資料を読み、短いレポートを作成する課題を出すので、これも毎回提出すること（文献資料はこちらから配布する）。 その他、必要に応じて「小レポート」「感想文」といった課題を課す場合がある。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
「事前学習」で学習してもらった内容については、授業で詳しく解説する。 また、前回講義の「感想・質問アンケート」に記された疑問や質問などについては、時間の許す限り、次回の講義で全て回答する。

評価の基準
平常点と、期末試験の得点で総合的に判定する。点数配分は平常点：15％（主に事前学習などの提出状況、質問票への記入状況）、定期試験：85％とする。（ 無断欠席については減点の対象となるので注意すること）

履修にあたっての注意・助言他
ヨーロッパ史の一般的な流れについては講義中に適宜説明するので、高校で「世界史」等を取っていなくても気後れすることなく受講して欲しい。ヨーロッパの歴史や文化に興味がある学生の受講を歓迎する。（もし高校時代の世界史教科書や年表などを持っていれば、用意しておくとうい）

教科書					
.西洋史学への扉.	白幡俊輔	京都芸術大学 東北芸術工科大学 出版局 監	1100	4909439358	

参考図書				
なし。				

その他
各講義ごとにプリントを配布する。また、参考となるような図書については講義中に適時教えるので、興味があれば読んでほしい。

授業計画
1. ガイダンス：「歴史学」とは何か 予習：教科書「はじめに」および「第一章：歴史学とは何か？」を熟読する。同様に教科書全体を通読する（180分）。 復習：教科書該当箇所を読み直し、「歴史」および「歴史学」の概念についてノート等に整理する（60分）。 2. 古代ギリシャの文明 予習：古代ギリシャ史についての文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。 復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分） 3. 古代ローマの文明／古代における歴史叙述 予習：古代ローマ神話についての文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分） 4. ローマ帝国の滅亡とフランク王国の誕生 予習：フランク王国に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分） 5. 中世都市の発展と十字軍運動 予習：十字軍運動に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分） 6. 皇帝・教皇権の衰退 予習：英仏百年戦争に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分） 7. キリスト教文化とルネサンス文化 予習：ルネサンス期の君主論を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分） 8. 大航海時代による「世界史」のはじまり 予習：「コロンブス交換」と大西洋三角貿易に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分） 9. 絶対主義国家の時代 予習：三十年戦争に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分） 10. フランス革命と国民国家の誕生 予習：フランス革命に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分） 11. 近代歴史学の誕生と役割 予習：教科書第2章「近代歴史学の誕生」を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分） 12. 産業革命から第一次大戦へ 予習：第一次世界大戦に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分） 13. 狂騒の二十年代から第二次世界大戦へ 予習：戦間期の日本政治に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分） 14. 東西冷戦と第三世界の発展 予習：ベトナム戦争期のアメリカ社会に関する文献を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分） 15. グローバル化と現代歴史学の観点 予習：教科書第三章「過去の出来事から歴史を読み解く」を読み、事前学習の課題に沿ってレポートを書く（180分）。復習：事前学習のレポートを読み直し、授業内容とともにノート等に整理する。（60分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
	ア：PBL（課題解決型学習）	○	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
本授業は「西洋史の教養的知識の習得」と「歴史学の方法論を理解すること」を通じて、全学共通のディプロマ・ポリシーのうちとくに の情報収集能力、課題発見力、構想力の習得・向上を目指す。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
学生からの質問等に関しては常時受け付けているので、講義前、講義中、講義後のいつでも積極的に尋ねて欲しい。ICTの活用については特に予定していない。

実務経験の有無及び活用

備考
本授業の教科書について： 大学の教科書販売では購入できないので、Amazonの「ペーパーバック」版を各自購入すること。 注 教科書にはAmazon Kindle版（電子書籍）もあるが、Kindle版を購入すると、期末試験時に持ち込み不可になるので購入しないこと。 ペーパーバック版は注文が来たらAmazonが印刷する「オンデマンド印刷」なので、到着まで一週間以上かかる場合がある。早めに購入しておくことを勧める。